

千代田区議会議員の政務調査研究費 に関するアンケート結果

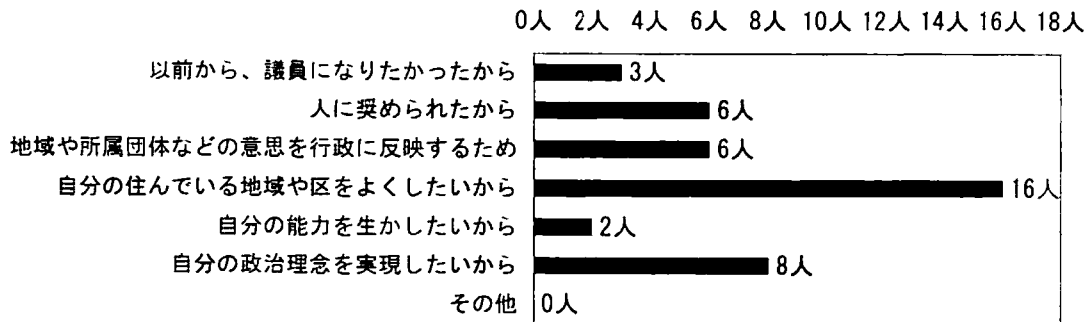
(平成 1 8 年 7 月実施)

千代田区議会政務調査研究費交付額等審査会

設問及び目次

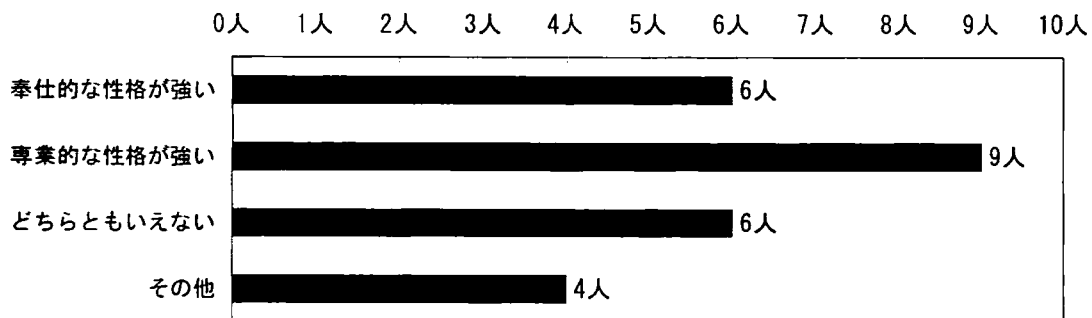
問 1	あなたが議員になった主な動機、きっかけは何ですか。	………… 1 P
問 2	区議会議員は、本来、奉仕的な性格が強いと思いますか。それとも、 専門的な性格が強いと思いますか。	………… 1 P
問 3	議会改革について、最も積極的に進めるべきものは何だと考えますか。	………… 2 P
問 4	議会と住民との距離を縮めるため、どのような方法が考えられますか。	………… 2 P
問 5	議員活動をしていて最も充実感を感じるのはどのような時ですか。	………… 3 P
問 6	議員の活動のうち最も時間を費やしている活動は何ですか。	………… 3 P
問 7	議員活動のち力を入れているものは何ですか。	
	①議会内での活動	………… 4 P
	②議会外での活動	………… 4 P
問 8	あなたが今最も精力的に取り組んでいる議員としての課題は何ですか。	………… 5 P
問 9	あなたは区民の区あるいは区議会に対する要望を把握していると思いますか。	………… 6 P
問10	議員活動に要する経費は、生活費を除いて月額どのくらいですか。	………… 6 P
問11	議員の活動をする上での経済的な負担として大きいものは何ですか。	………… 7 P
問12	区内の各種団体が主催する会合について	
	①年間の会合件数はどのくらいですか。	………… 7 P
	②会合の参加費は主にどのくらいですか。	………… 8 P
	③会合の参加費は、年額どのくらいですか。	………… 8 P
	④会合の参加費について、どのように考えますか。	………… 9 P
問13	現在のあなたの報酬額は適正だと思いますか。	…………10P
問14	報酬は、あなたの収入の何%くらいですか。	…………11P
問15	政務調査研究費を現在より少なくしても十分な議員活動ができますか。	…………11P
問16	現在の政務調査研究費の額は適正だと思いますか。	…………12P
問17	現在の政務調査研究費の使途基準について、どのように感じていますか。	…………12P
問18	自由意見など	…………13P

問1 あなたが議員になった主な動機、きっかけは何ですか
※複数回答2つまで



議員になった主な動機、きっかけは「自分の住んでいる地域を良くしたいから」(16人)が圧倒的に多く、2番目以下は分散して、「自分の政治理念を実現したいから」(8人)、「人に奨められたから」(6人)、「地域や所属団体などの意志を行政に反映するため」(6人)が同数である。

問2 区議会議員は、本来、奉仕的な性格が強いと思いますか。それとも、専門的な性格が強いと思いますか。

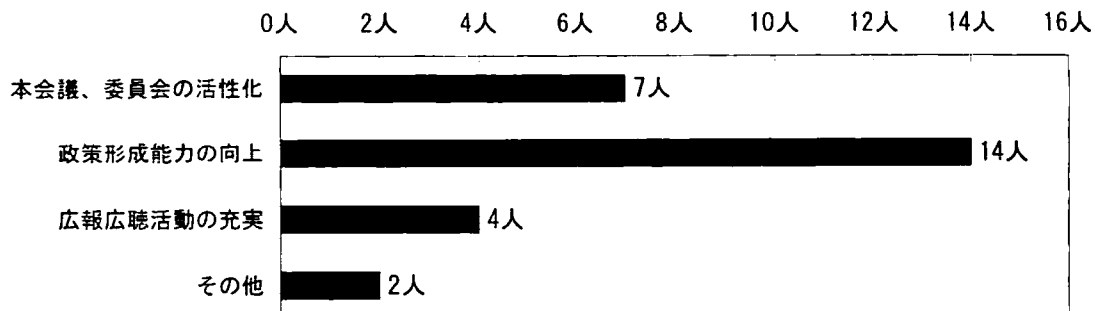


<その他及び自由意見など>

- 奉仕の気持ちがなければまともな仕事はできない。専門意識がなければ、区民代表としての責任に欠け、単なるメッセンジャーになってしまう。両者を切り離すことはできない。
- 専門性と奉仕的な役割のバランスを考えるべき。

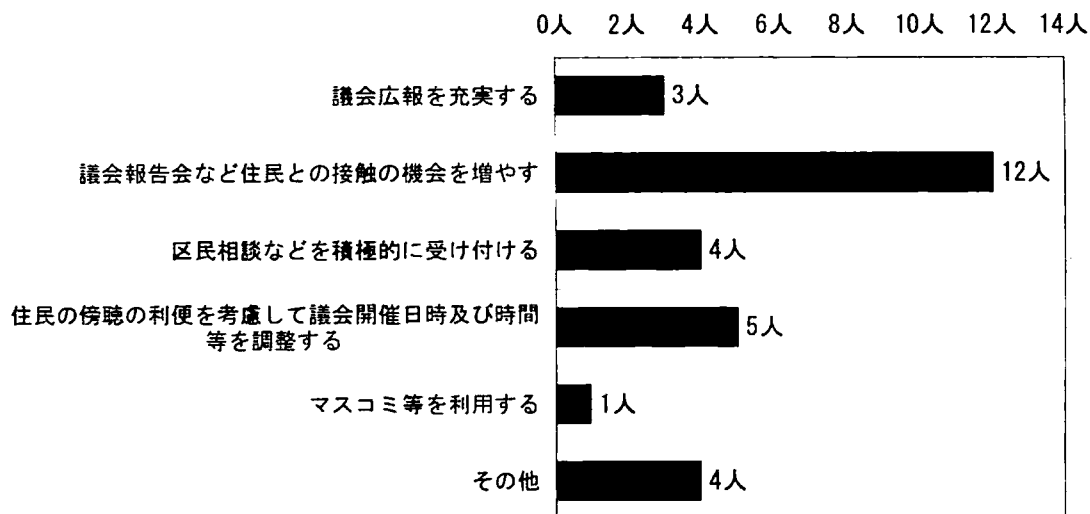
議員の性格は意見が分かれ、「専門的な性格が強い」(9人)が最も多く、「奉仕的な性格が強い」と「どちらともいえない」は同数で6人となっている。また、「その他」も4人である。

問3 議会改革について、最も積極的に進めるべきものは何だと考えますか。



積極的に議会改革を進めるべきと思う筆頭は「政策形成能力の向上」(14人)が圧倒的に多い。

問4 議会と住民との距離を縮めるため、どのような方法が考えられますか。



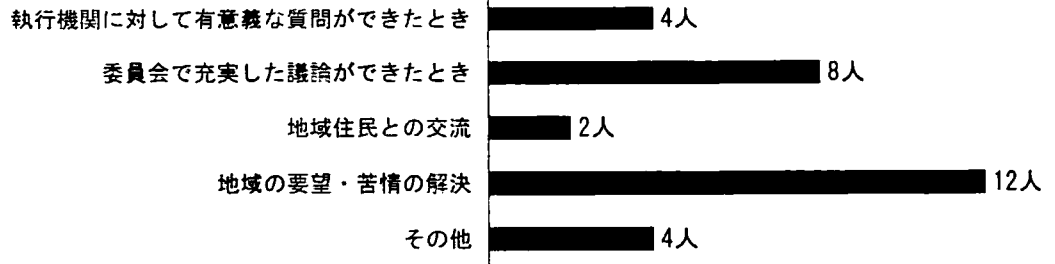
<その他及び自由意見など>

- 例えば地域ごとに、あるいは職種ごとに超党派で懇談会等を行なう。
投げかけられた様々な課題を区民と一緒に考え、場合によっては共に行動もする。
単に使い勝手の良い世話役としての議員が近くにいるということではなく、区民生活に関わる諸課題と一緒に解決努力をしてくれるという意味での「身近な存在」になることが望ましい。
このことによって、距離が縮まらないだろうか。
- 会議全て公開。ケーブルテレビ等。

「議会報告会など住民との接触の機会を増やす」(12人)が圧倒的に多い。

問5 議員活動をしていて最も充実感を感じるのはどのような時ですか。

0人 2人 4人 6人 8人 10人 12人 14人

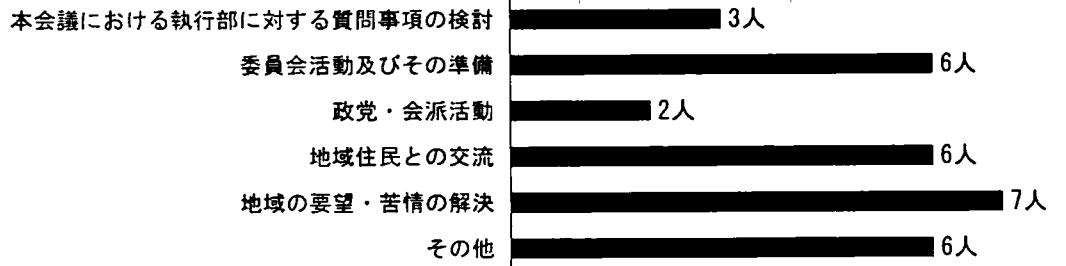


<その他及び自由意見など>

- 議会をととして取り組んだ課題が施策として実現したとき。
- 提案した施策等が具体化し、区民利益が拡大した時。
実際には個人の提案がそのまま執行機関に受け入れられることはない。同僚の賛意が必要である。充実感があっても表現することはできない。
- 政策課題研究、調査活動。

問6 議員の活動のうち最も時間を費やしている活動は何ですか。

0人 1人 2人 3人 4人 5人 6人 7人 8人



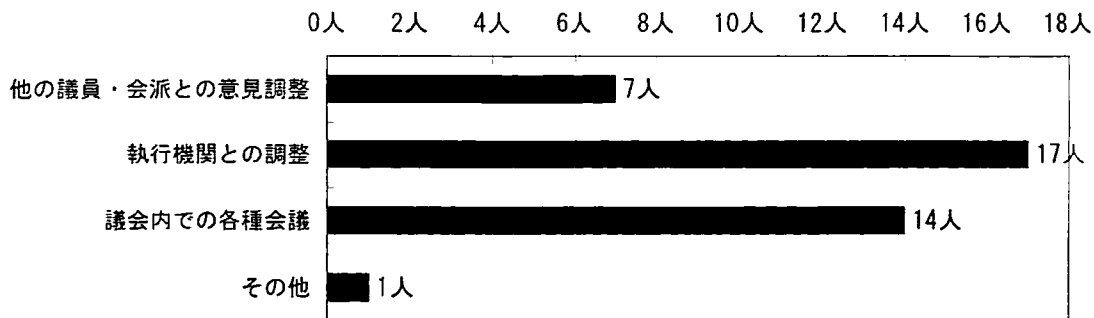
<その他及び自由意見など>

- 政策・施策研究
- 政策課題研究、調査活動
- 議員活動にとって必要な学習会、講演会への出席
- 住民相談

問5「最も充実感を感じる議員活動」、問6「最も時間を費やしている議員活動」とともに「地域の要望・苦情の解決」を選んだ議員が最も多い。

また、「委員会活動」や「執行機関への質問」は問5と問6とで相関関係が見られるが、「地域住民との交流」は問6「時間を費やしている活動」として6人回答している一方で、問5「充実感を感じる活動」では2人とどまっている。

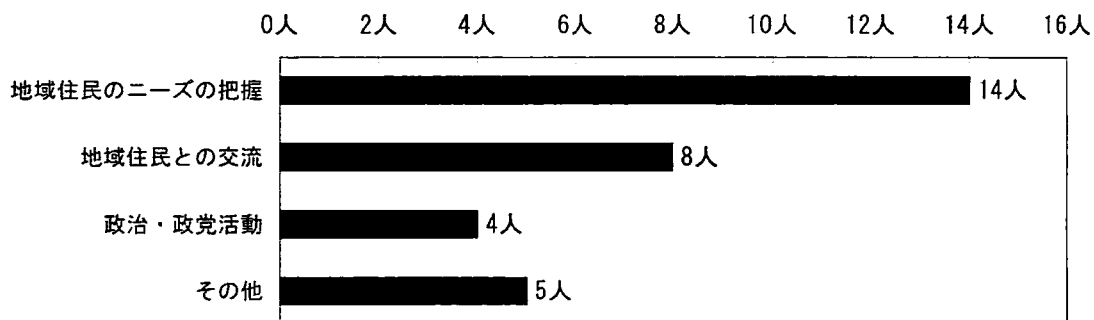
問7-① 議員活動のうち力を入れているものは何ですか
 =議会内での活動=
 ※複数回答可



<その他及び自由意見など>
 ●政策課題研究、調査活動

議会内での活動では、「執行機関との調整」(17人)及び「議会内での各種会議」(14人)に力を入れているという回答が圧倒的に多い。

問7-② 議員活動のうち力を入れているものは何ですか
 =議会外での活動=
 ※複数回答可



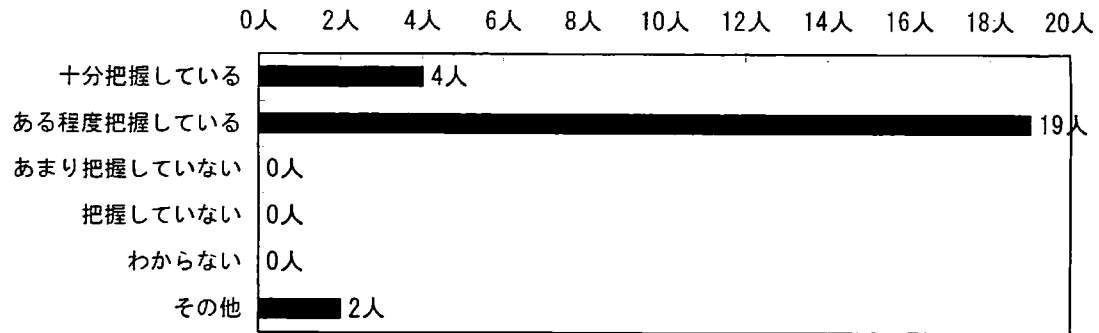
<その他及び自由意見など>
 ●区民からの生活相談に対応することが多い。
 ●政策課題研究、調査活動
 ●議会（行政）の課題解決に向けて学習、実地（実態）調査。

議会外での活動では、「地域住民のニーズの把握」(14人)、「地域住民との交流」(8人)の順で多く、地域での活動に力を入れているという回答が圧倒的に多い。

問8 あなたが今最も精力的に取り組んでいる議員としての課題は何ですか。(具体的に)

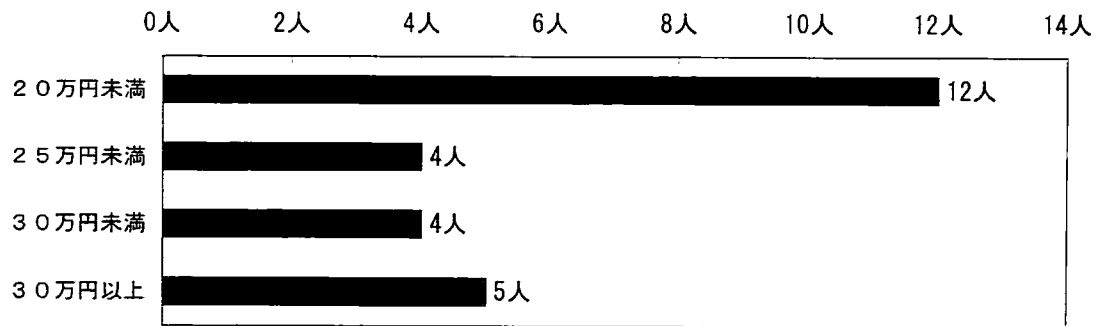
<ul style="list-style-type: none"> ・全ての分野で、区民のための自治体にしてゆくこと。 ・官から民への盲目的な区政を改めさせ、本来の地方自治をつくりあげる。そのためには、切実な区民の要求を太平にしてひとつひとつ実現させること。
<ul style="list-style-type: none"> ・教育問題（特に教育現場、教員の資質向上） ・乳幼児から高齢者まで地域の中で住み続けられる生活のための課題の解決。
<ul style="list-style-type: none"> ・青少年教育＝スポーツ振興 ・安全安心のまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉施策の充実 ・まちづくりの充実
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利の確立 ・高齢者の自立と援助に必要な施策 ・男女平等施策等 ・平和維持のための施策 ・ゴミ、緑、バリアフリーなど身近な環境の改善
<ul style="list-style-type: none"> ・防災問題 ・福祉問題
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉、教育
<ul style="list-style-type: none"> ・環境、教育問題
<ul style="list-style-type: none"> ・安心して住み続けられる住宅の確保と、高齢者・こどもへの福祉の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・区民福祉の向上、まちづくり、教育問題
<ul style="list-style-type: none"> ・縦割組織の窓口を集結させたのではない、「総合窓口」の設置。 ・区民の80%を占めるマンション居住者を意識した新しいコミュニティー探求。 ・区民に見える機関としての議会の活動。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの強化 ・少子化対策 ・観光施策の推進
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て、高齢者、障がい者の生活環境整備
<ul style="list-style-type: none"> ・電線地中化 ・商店街の活性化
<ul style="list-style-type: none"> ・住環境づくりとまちづくり ・教育条件整備
<ul style="list-style-type: none"> ・街づくり ・住宅問題 ・高齢化対策
<ul style="list-style-type: none"> ・都市問題 ・まちづくり
<ul style="list-style-type: none"> ・格差社会
<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり、地域の活性化、まちの治安の悪化や環境問題
<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ清掃問題（環境問題） ・高齢者福祉 ・まちづくり（地区計画）
<ul style="list-style-type: none"> ・教育問題→公立校のクラス数
<ul style="list-style-type: none"> ・教育問題
<ul style="list-style-type: none"> ・地方議会はず、街が活性化しここに住み、働き、集う 街づくりが必要です。人が集まらなければ税収も無く、教育や高齢者、経済活動も皆無で、地方都市が苦戦している事例はたくさんある。
<ul style="list-style-type: none"> ・区民福祉の向上、まちづくり、教育問題
<ul style="list-style-type: none"> ・住民自治の実現

問9 あなたは区民の区あるいは区議会に対する要望を把握していると思いますか。



「十分把握している」(4人)及び「ある程度把握している」(19人)を合わせると、ほとんどの議員が、区民の要望を把握しているという認識を持っている。

問10 議員活動に要する経費は、生活費を除いて月額どのくらいですか。

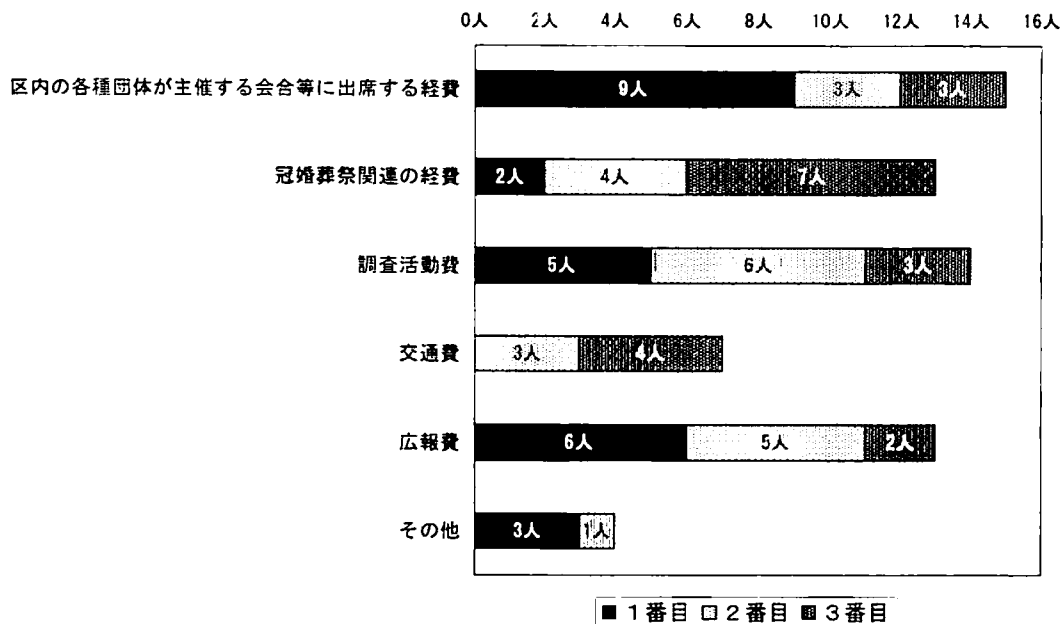


<その他及び自由意見など>

- 政治活動費も含めて。
- 定例会後に報告書を出すと、郵券だけでも1回30万以上かかるし、日々の活動費もある。

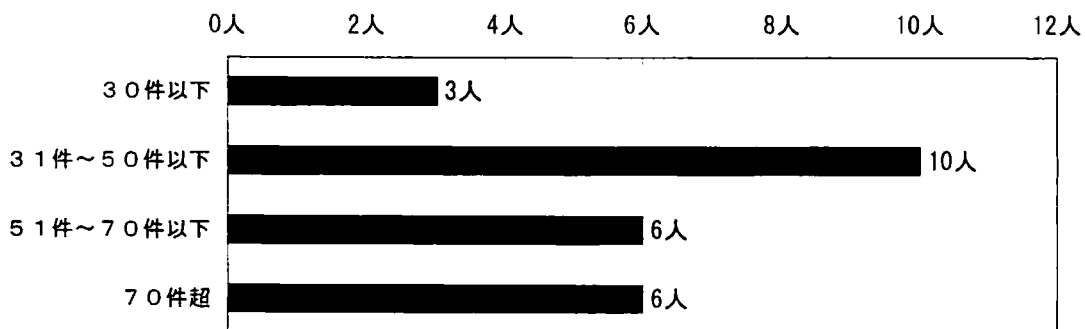
選択肢の中で最も低額な「20万円未満」(12人)という回答が多い。「25万円未満」(4人)、「30万円未満」(4人)、「30万円以上」(5人)は、ほぼ同数である。

問1 議員の活動をする上での経済的な負担として大きいものは何ですか。 ※負担の大きい順に3つまで選択してください。



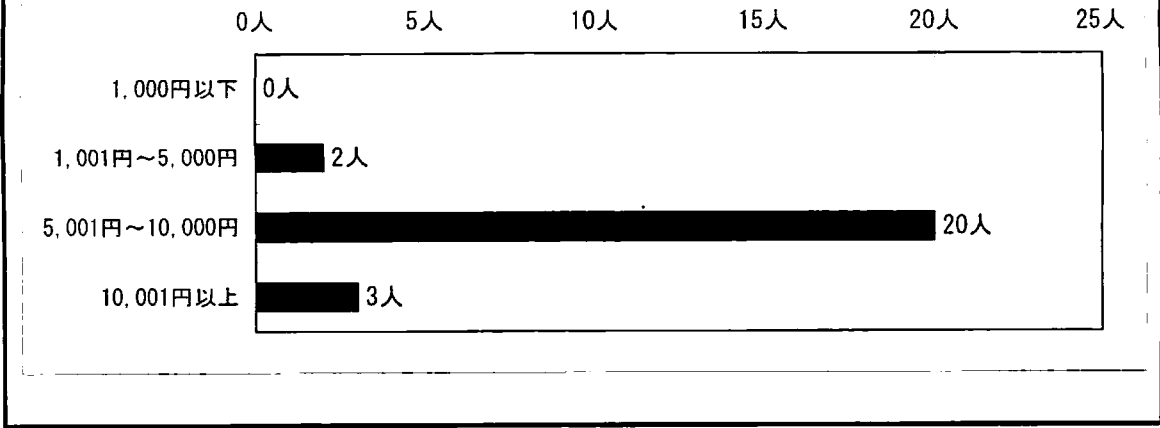
「各種団体の会合参加費」が最も多く、特に1番目に選択している議員が多い。
 「調査活動費」「広報費」「冠婚葬祭関連の経費」が合計数ではほぼ同数であるが、
 「冠婚葬祭関連の経費」は3番目に選択している議員が多い。

問12 区内の各種団体が主催する会合について
 ①年間の会合件数はどのくらいですか。



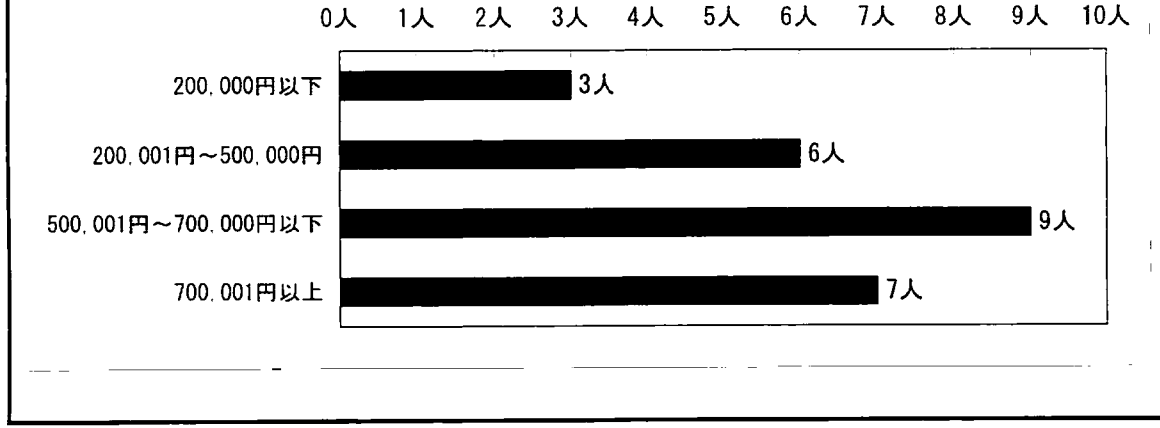
「31件~50件以下」(10人)が最も多く、「51件~70件以下」(6人)と「70件超」(6人)が同数だった。
 30件以下は3人とどまった。

問12 区内の各種団体が主催する会合について
 ②会合の参加費は主にどのくらいですか。



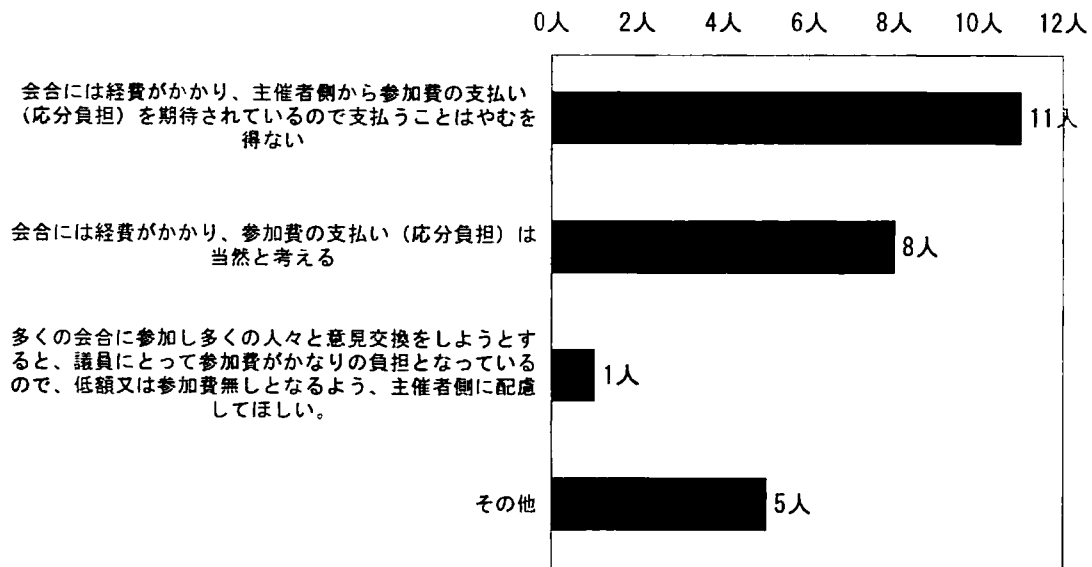
「5,001円～10,000円」(20人)が圧倒的に多く、「1,000円以下」という回答は無かった。

問12 区内の各種団体が主催する会合について
 ③会合の参加費は、年額はどのくらいですか。



「500,001円～700,000円以下」(9人)が最も多く、「700,001円以上」(7人)が続く。
 問10の結果から、議員活動費の月額を仮に20万円とすると、年間では240万円となるので、
 会合参加費が占める割合は比較的大きい。
 問11でも、経済的な負担が大きい活動として「会合の参加費」を選択した議員が多かった。

問12 区内の各種団体が主催する会合について
④会合の参加費について、どのように考えますか。

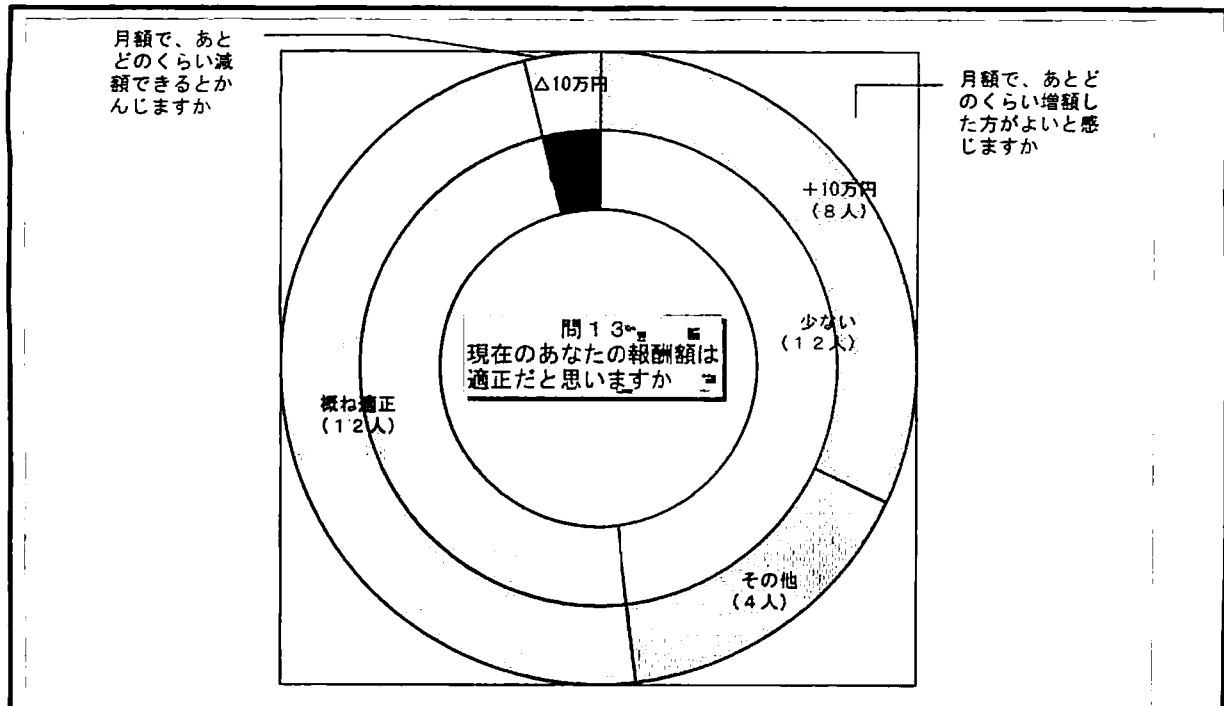


<その他及び自由意見など>

- 議員の資格で参加するのであれば、主催者側は会費の徴収ありきの考え方をあらためてほしい
- 公職選挙法に違反しないよう努めている。会合の参加費については、案内をいただいても出欠の自由もあるため、金額の多寡によっても判断できる。
参加費を徴収しない会合もあるので、一括りにして考えることはできない。
- 回数出ないので、負担ではない。
- 10,000円以上なら、一律5,000円とか。
- 議員になれば、各団体も議員に内情を周知したい為呼ぶ。又、議員情報収集や活動拡大の為、参加費を支払わないと出席しにくい。

参加費を支払うことについては「やむを得ない」(11人)が最も多く、「当然支払うべき」(8人)が続く。

問11、問12の結果から会合の参加費の負担が大きい一方で、参加費を支払うことには肯定的な考えが多い。



<その他及び自由意見など>

ア. 少ない理由

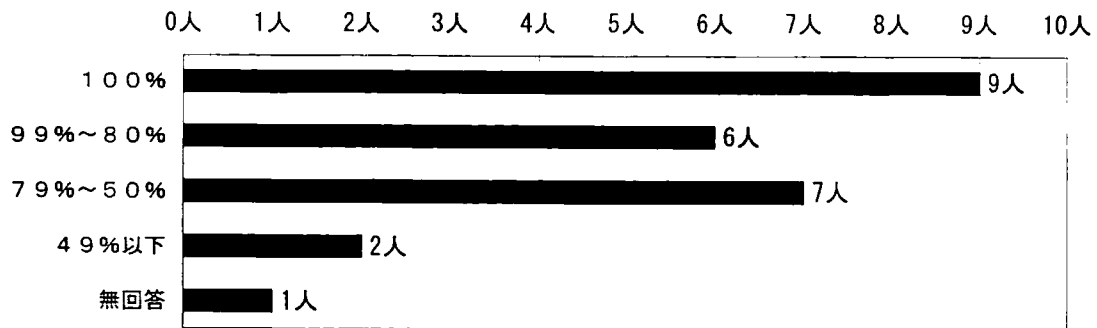
- 千代田区は、生活をするための諸費用が高額になり、家族（親族）の応援なしではできない。
- 議員を専業とすることを決めた時点で、蓄財については放棄している。
しかし、預貯金がまったくない状態であるから、家族に病人が出ることへの不安がついてまわる。貧すれば鈍する。
- 議員活動がしにくい。
- 生活していく上での固定費そのものが都心区ならではの高水準にあるため。
- 議員活動が収入の主なので、千代田区で生活する以上もうすこし増額が必要と考える。
- 住宅ローンと子どもの教育費を払うと生活がやっとである。

ウ. 多い理由

- 他の職業に比して多額である。
- 家賃がいらぬため。

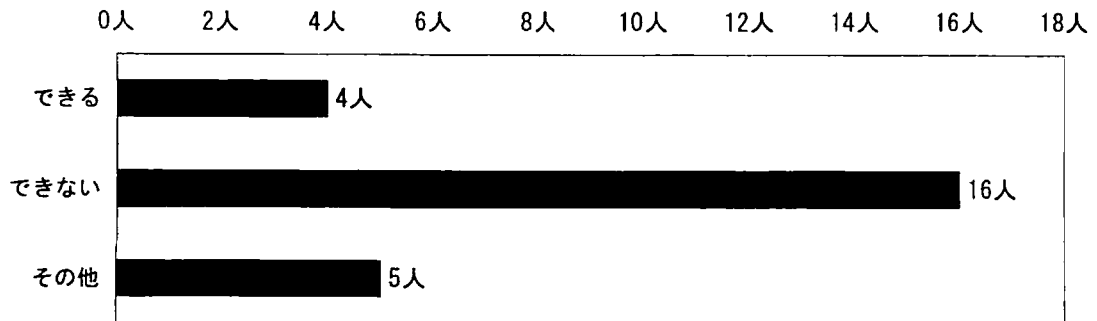
「少ない」(12人)と「概ね適正」(12人)が同数で、「多い」という回答は1人のみ。
「少ない」を選択した12人のうち、8人が月額10万円程度の増額した方がよいと感じている。

問14 報酬は、あなたの収入の何%くらいですか。



議員報酬が収入の「100%」である議員が9人と最も多い。
 また、問2の結果、「専門的性格が強い」(9人)との相関関係も認められる。
 「49%以下」は2人ととどまり、収入のうち議員報酬が占める割合が大きい傾向にある。

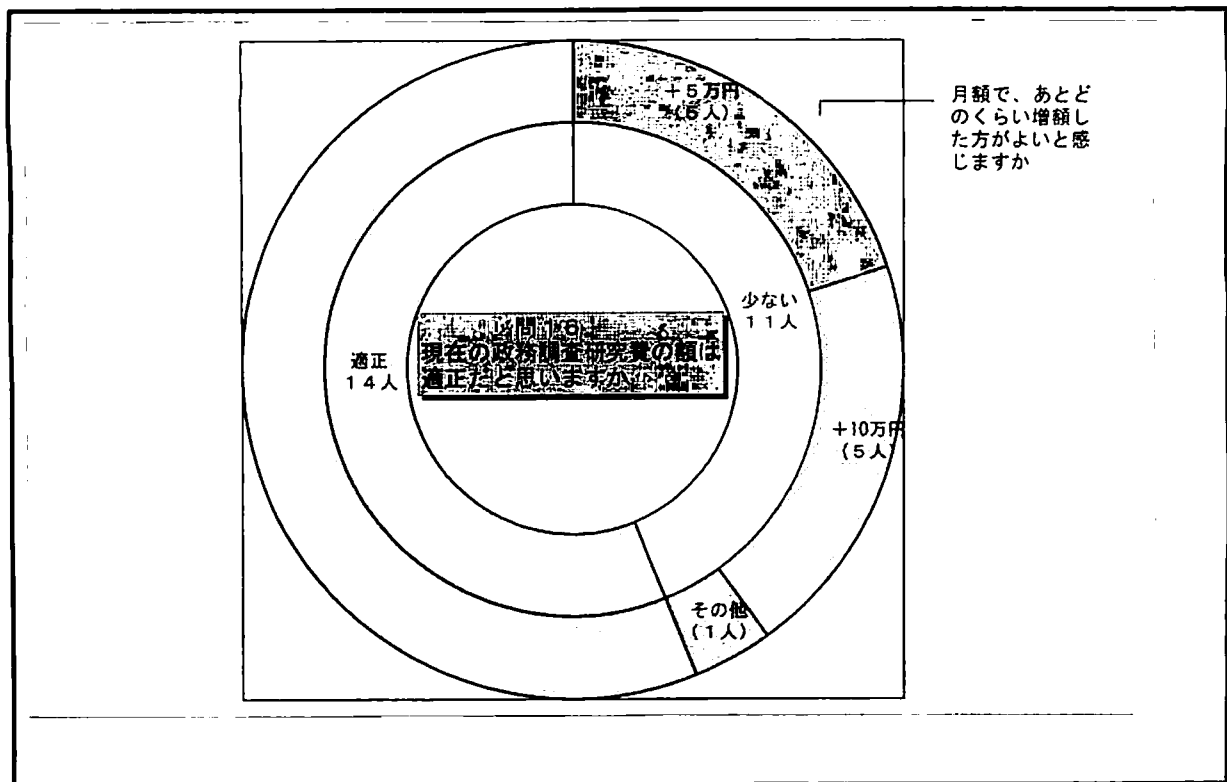
問15 政務調査研究費を現在より少なくしても十分な議員活動ができますか。



<その他及び自由意見など>

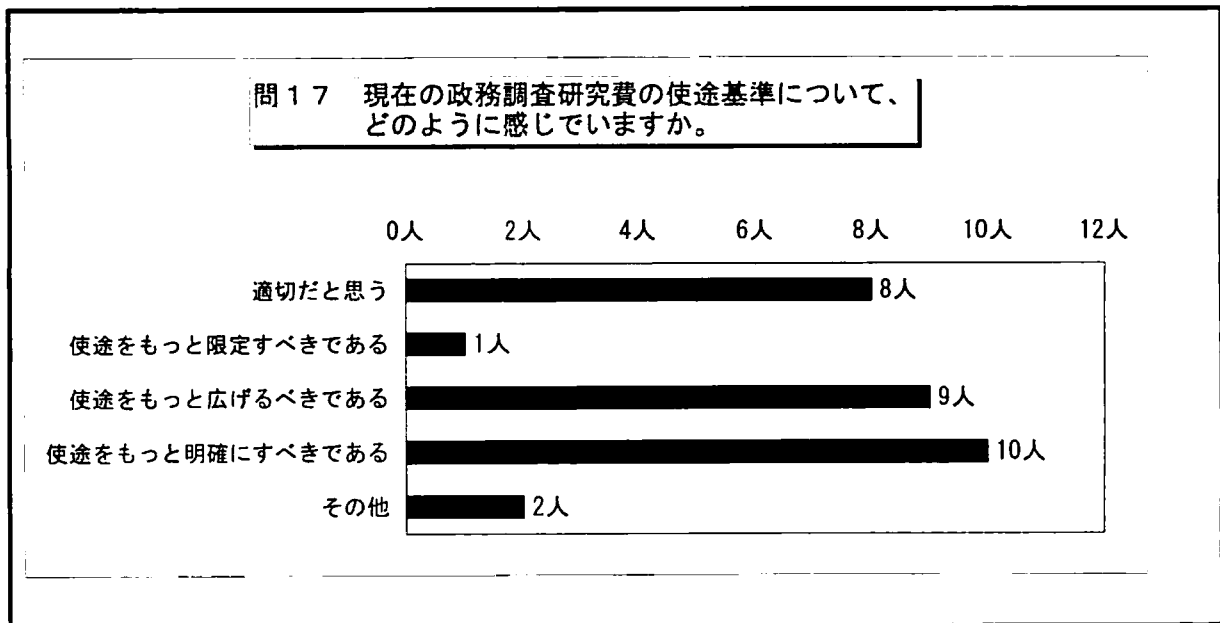
- 用途基準によってかわると思う。
- 十分というよりも、より幅広い調査活動をするためには、増額されたぶんだけ、よりできる範囲が広がる。
- 政策等の研究立案のための機関利用費を政調費より支払いたい。すると不足する。
- 支出範囲がせますぎる

政務調査研究費が減額された場合、「十分な議員活動ができない」(16人)という回答が、圧倒的に多い。



政務調査研究費の額が「多い」という回答は無く、「適正」(14人)、「少ない」(11人)であった。

「少ない」と回答した11人のうち、5人が5万円の増額を、5人が10万円の増額をした方がよいと感じている。



「もっと明確にすべき」(10人)、「もっと広げるべき」(9人)というように、使途基準の見直し、改善が必要と感じている議員が多い。

また、約3割の議員は現在の使途基準を「適切」(8人)と回答している。

問 1 8 自由意見など

- ・現在の情報公開でも受け入れられないというか、住民が知りたいことに応えていないような情報の流し方を今後は検討したい。
- ・政務調査研究費は議員活動費とし、活用範囲を広げるべきと考えるが、現行制度の中でするしかない。
- ・議員報酬と政務調査費を一緒にすべきと思う。
千代田区議会議員は専従が多く、この額では子育てもままならない。
- ・前書きにあるように、議会・議員活動が住民に対し正確に伝わっていないのが実情で、今回のアンケートがその解決の一助になる事を望んでおります。
- ・報酬が高く専門化することで、市民や働く人々との感覚との乖離が生じている。
- ・夜間、土日議会により市民の参加のもとで議会が運営され、議員も仕事をしながら政治活動を行うスタイルに移行していくことを期待している。
- ・報酬は減額し、政務調査費を多くする。
- ・専門議員だけでなく様々な立場、職種の議員がいることが望ましい。
- ・議員専業では報酬は少ないが、「専業をとらず」ならば、現在の報酬で適正。
反対に政務調査費を上げる方向が好ましい。
- ・現在の報酬は専業なら少ないが、副業なら多すぎる。中途半端です。
- ・多様な層、職業の議員がいて良いと思う。専門化のみを望んではいない。
- ・報酬も社会状況をよく考慮して、現状で十分ではないかと考える。
- ・現在の政務調査研究費及び議員報酬が良いと思いますが、多くなればもっと活動ができると思います。
- ・我々末端の地方議員が真剣に調査費の収支報告をしているのに、都・国会議員のはマスコミをはじめ、その筋の審議会で議論されても、是正されたことがない。
そのあたりを、どうお考えか？
- ・議員定数にしてもしかりで、報酬にしてもしかり、議員宿舎にしてもしかり。

千代田区議会及び議員に関するアンケート結果

(平成18年12月実施)

千代田区議会政務調査研究費交付額等審査会

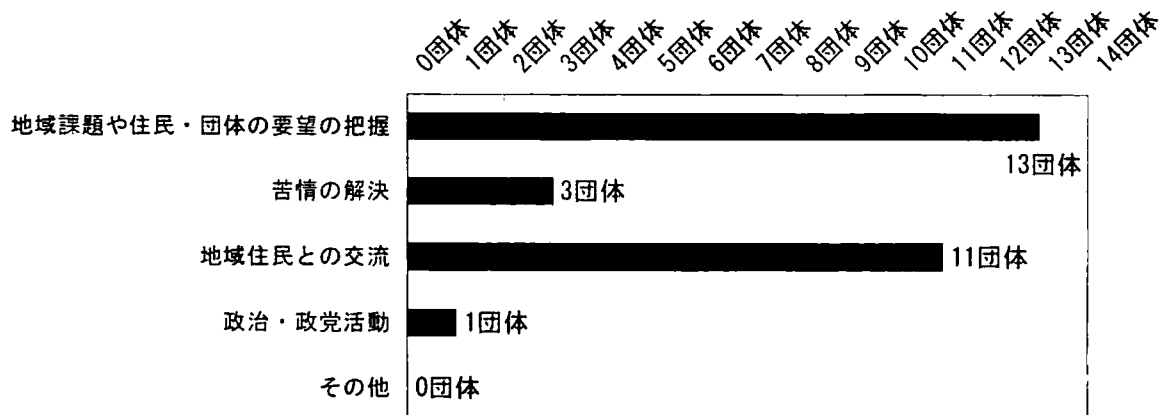
設問及び目次

問1	千代田区議会に期待することは何ですか。	…………… 1P
問2	千代田区議会の活動についてどう思いますか。	…………… 1P
問3	区議会議員に、どのような活動に力を入れてほしいと思いますか。	…………… 2P
問4	区議会議員に最も精力的に取り組んでほしい具体的な課題があればご記入下さい。	…………… 3P
問5	区議会議員は区民や団体からの要望を把握していると思いますか。	…………… 4P
問6	区議会議員の活動費のうち、どのような経費の支出が多いと思いますか。	…………… 4P
問7	貴団体が主催する会合で、区議会議員が参加する回数は年間何回くらいですか。	…………… 5P
問8	貴団体の会合で、区議会議員の参加費は主にどのくらいですか。	…………… 5P
問9	区議会議員が地域の団体主催の会合に参加する回数は年間平均何回くらいだと お考えですか。	…………… 6P
問10	区議会議員が地域の団体の会合に払う参加費の1年の総額平均はどれくらいだと お考えですか。	…………… 6P
問11	貴団体の会合の参加費について、どのように考えますか。	…………… 7P
問12	自由意見（区議会や区議会議員の活動に関する要望、意見など）	…………… 8P

- このアンケートは、千代田区内の各種団体（町会関係、商工観光関係、保健・福祉関係、教育・文化関係等）に対して実施いたしました。

アンケート配布数	15 団体
アンケート回答数	14 団体
回答率	93.34 %

問3 区議会議員に、どのような活動に力を入れてほしいと思いますか。以下の中から、2つ〇を付けてください。

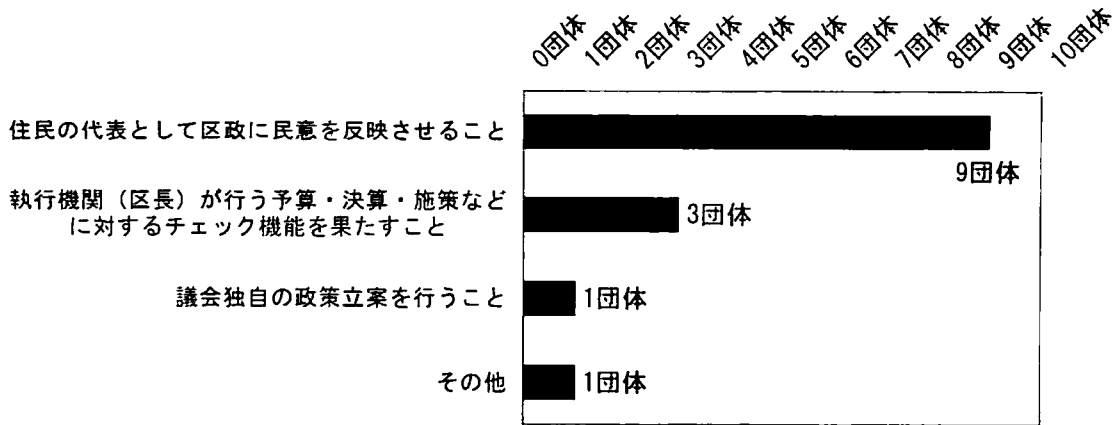


<その他及び自由意見など>

- ・「ア. 地域課題や住民・団体の要望の把握」をした上で、その実現に向けて活動する。

1番目が「地域の課題や住民・団体の要望の把握」（13団体）、2番目が「地域住民との交流」（11団体）であり、地域での活動に力を入れて欲しいという回答が多い。

問1 千代田区議会の活動に期待する点とは何ですか。
 以下の中から、1つ〇印を付けてください。

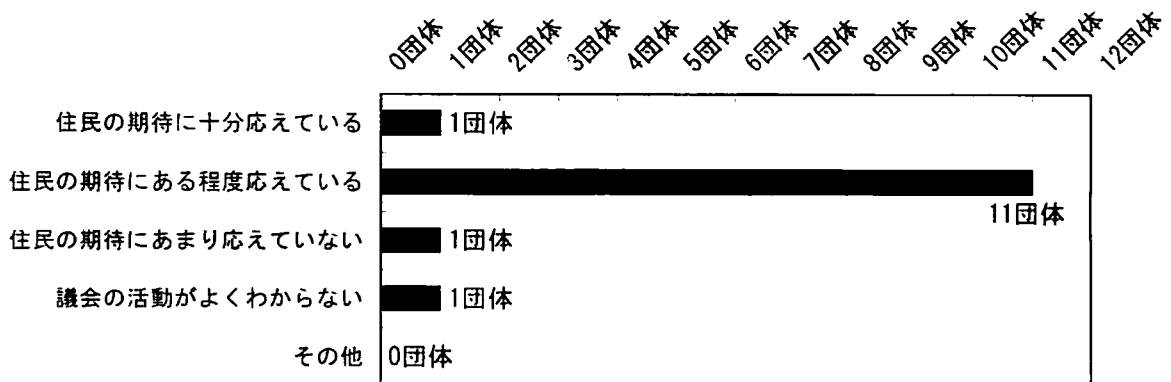


<その他及び自由意見など>

・日々区議会議員の議員行動 何をしているのか情報開示の上でない？

千代田区議会の活動に期待することは、「区政を民意に反映させること」（9団体）が最も多く、「執行機関（区長）のチェック機能を果たすこと」（3団体）が次に多かった。

問2 千代田区議会の活動についてどう思いますか。
 以下の中から、1つ〇を付けてください。



千代田区議会の活動については、「住民の期待にある程度応えている」（11団体）が圧倒的に多く、「住民の期待に十分に応えている」（1団体）と合わせると、一定の評価を得ている。

問4 区議会議員に最も精力的に取り組んでほしい具体的な課題があればご記入ください。

・高齢者問題

特に元気な高齢者（8割は元気なお年寄）に対する施策を。

- ・スポーツ、趣味等活動する場の確保を。
- ・老人パワーの活用を。

・スポーツ振興策

幼児から高齢者までのスポーツクラブ（仮称）の設置を。

・長く住み易い千代田を目指して、区民の為、区民の為に…

・千代田区としての独自性、東京都の中心である意義を持ち、指導的な取り組みがすべてに望みます。

・文化芸術に力を入れてほしい。

・環境問題

・高齢者福祉

・障害者福祉

・高齢者福祉

・次世代育成

・高齢者の健康問題

・次世代育成プログラム

・スポーツ振興策—体育館の整備

・千代田区の観光振興

・千代田区のランドデザインを示して下さい。

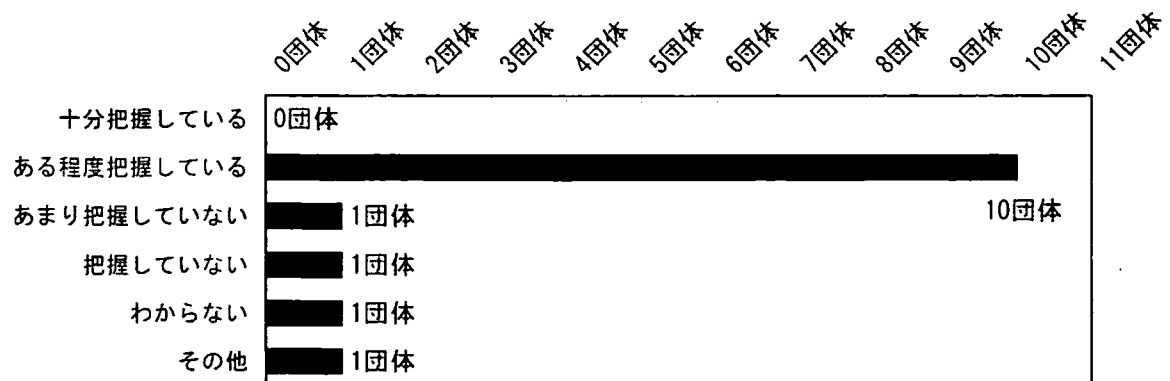
・マンション住民と町会とのコミュニケーション

・コミュニティーの活性化

・地元経済の発展

・リサイクル

問5 区議会議員は区民や団体からの要望を把握していると思いますか。以下の中から、1つ〇印を付けてください。

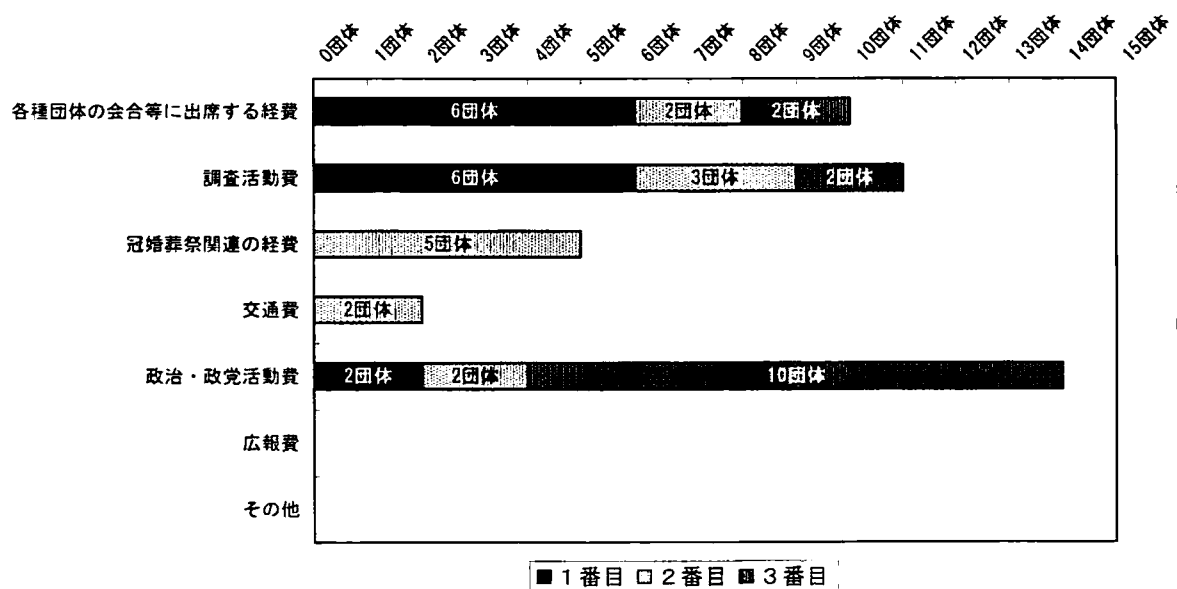


<その他及び自由意見など>

・地域の課題は様々であり、議員個人によって温度差がある。

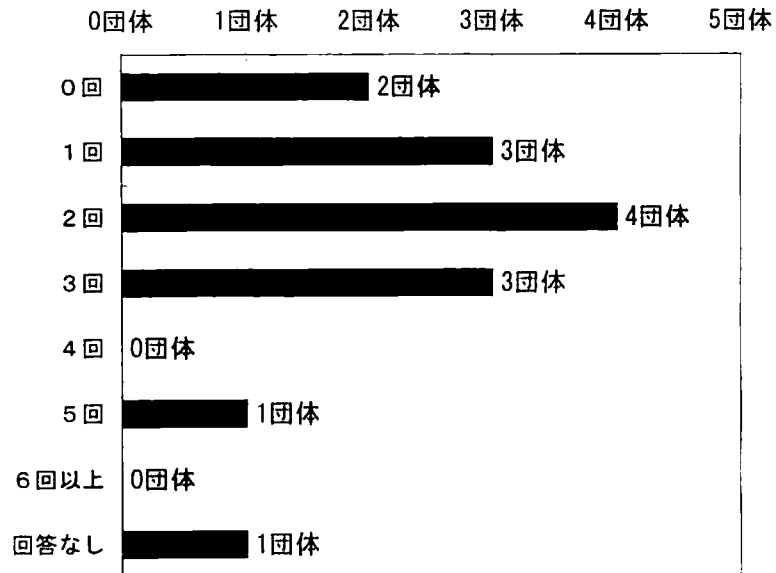
区議会議員は区民や団体からの要望を「ある程度把握している」（10団体）という回答が、圧倒的に多かった。

問6 区議会議員の活動費のうち、どのような経費の支出が多いと思いますか。下記の選択肢から支出が多いと思う順に3つ記入してください。



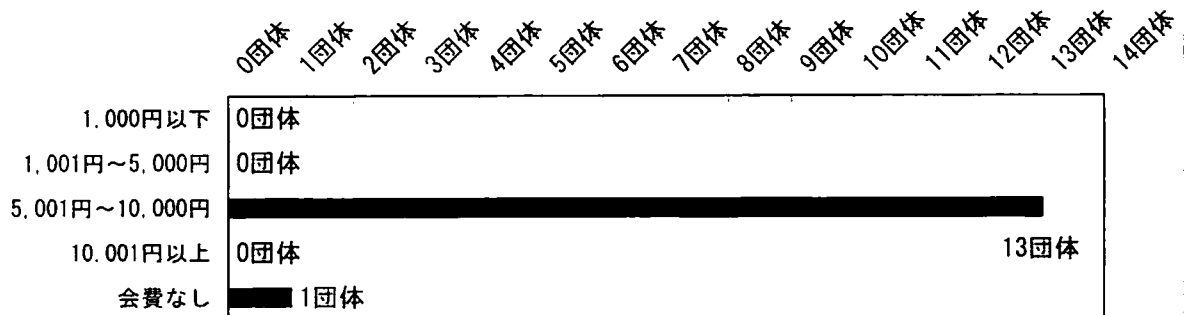
全ての団体が「政治・政党活動」（14団体）を選択しているが、順位は3番目という回答が多い。「会合等の参加費」及び調査活動費が次に多いが、1番目に選択している割合が多い。

問7. 貴団体が主催する会合で、区議会議員が参加する回数は年間何回くらいですか。(具体的な回数を記載して下さい)



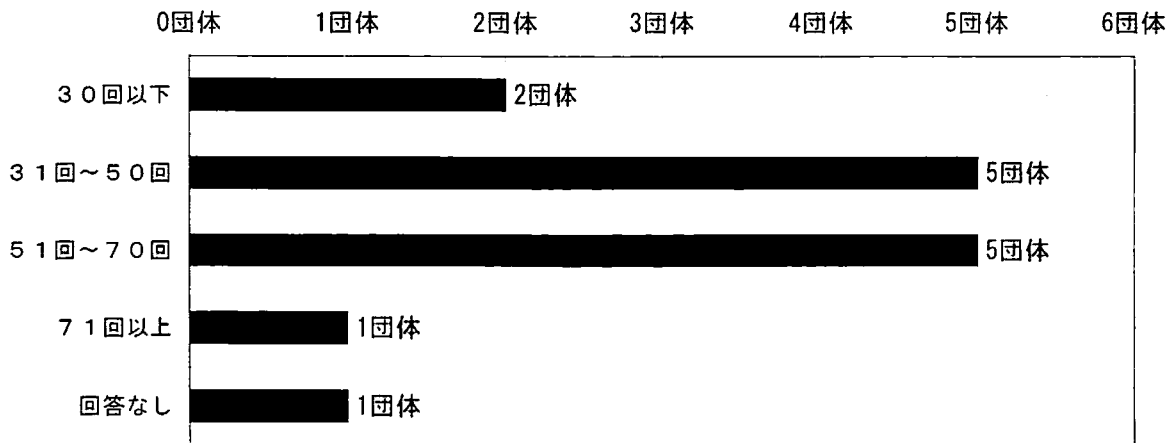
「回答なし」(1団体)を除いて、全ての団体が5回以内の回答であった。

問8. 貴団体の会合で、区議会議員の参加費は主にどのくらいですか。以下の中から、1つ〇印を付けてください。



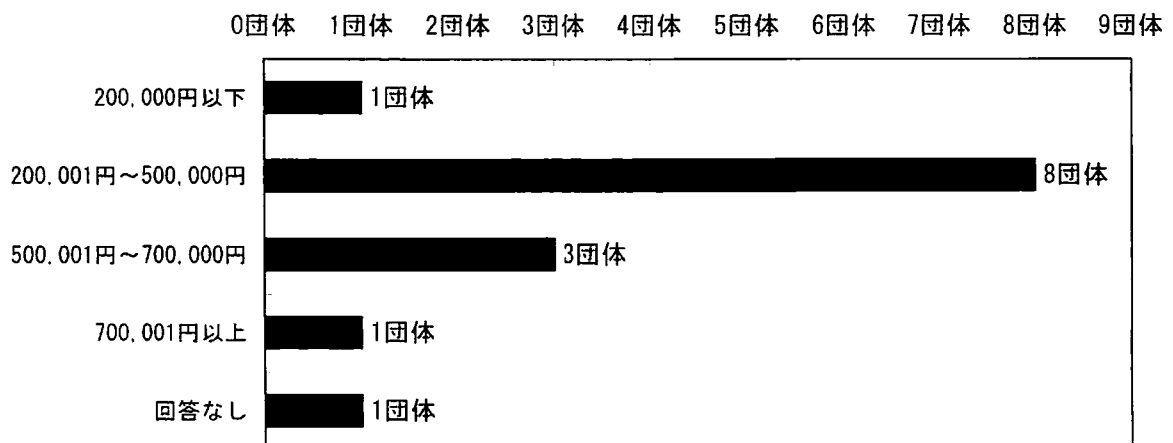
「会費なし」(1団体)を除いて、すべて「5,001円~10,000円」(13団体)と回答している。

問9 区議会議員が地域の団体主催の会合に参加する回数は年間平均何回くらいとお考えですか。
以下の中から、1つ〇印を付けてください。



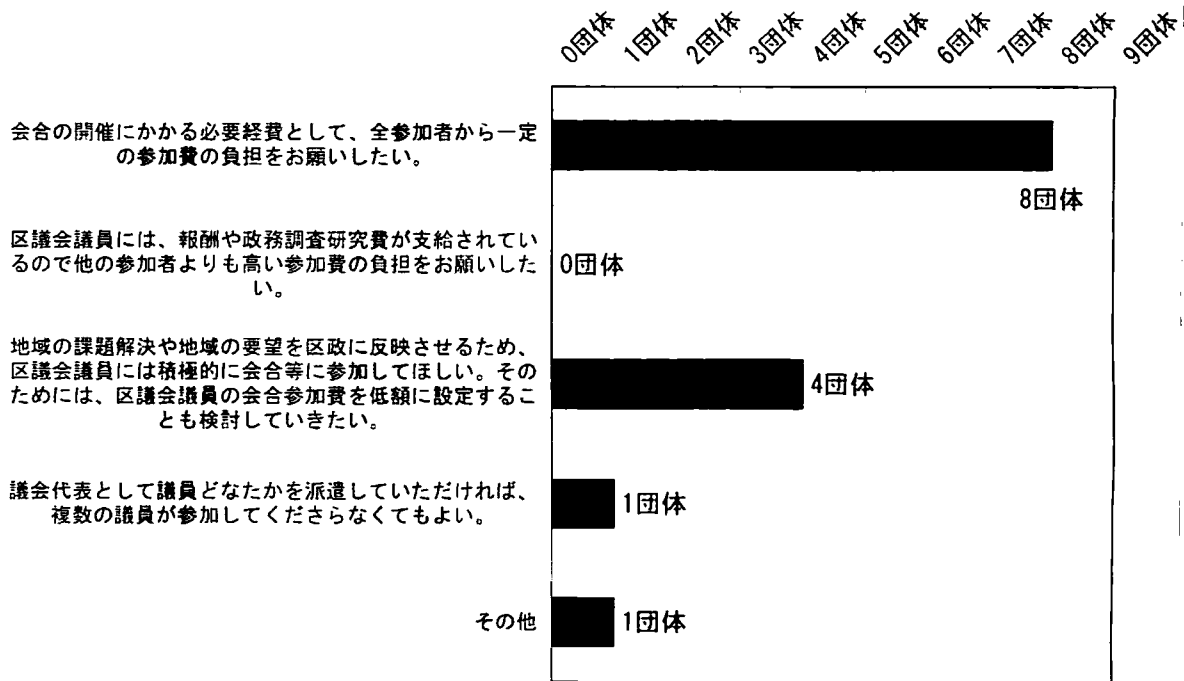
区議会議員が地域の会合等に出席する回数は、年間「31回～50回」（5団体）又は「51回～70回」（5団体）と考えている団体が多い。

問10 区議会議員は地域の団体の会合に支払う参加費の1年の総額平均はどれくらいとお考えですか。
以下の中から、1つ〇印を付けてください。



区議会議員が支払う会合参加費の年額は「200,001円～500,000円」（8団体）と考える団体が圧倒的に多かった。

問11 貴団体の会合の参加費について、どのように考えますか。
 以下の中から、1つ〇印を付けてください。



<その他及び自由意見など>

- ・その他=参加費は徴収していません。

会合等の参加費については、「必要経費として、一定の負担をお願いしたい」（8団体）が最も多いが、「地域の課題や要望を区政に反映させるため、区議会議員の参加費を定額にすることも検討したい」（4団体）という回答も2番目に多かった。

問12 自由意見

(区議会や区議会議員の活動に関する要望、意見など)

定住人口と夜間人口との差が極端な、例の無い自治体として千代田区はどうあるべきか。

首長の考えは見えるが(良し悪しは別として)区議会の考えは見えない。

難しい問題と思うがもっと積極的な主張(検討)すべきではないか。

政務調査研究費が有る事を今迄知りませんでした。が、議員一人一人が区民の多様な要望に答えられる様、勉強したり、情報交換の場等に参加する事は必要であると思う。

経費が月額15万円が多いか少ないか、必要か不必要かは分からないが、問題になった事は良い事であると思う。

私共の色々な会合に参加頂いた議員さん方と単会、単組の会員達と直に話し合い、その中で自分達の組織の事をどれ位理解しているのか、又、勉強しているのか判断する事が出来ます。

矢張り多く参加して頂ける議員には親しみを感じ、逆の方々には疎遠になるのは残念ながら当然であり議員も大変だと思う。

千代田区役所の新庁舎の完成にあたり、やはり千代田区独自のキャラクターを出して、他の区を引っぱっていきけるような存在で欲しいと思います。

税金のむだ使いに関する調査をもっとチェックする必要がある。

区からの公金を個人の金と考え、使い方等チェックしていただきたい。

その場合、正しい判断の出来る人でなければ何もならない。特に区民の税金を使う場合、自分の金としてしか判断出来ない人が多い。情けない事である。

今、各地で大きな課題(問題)となっている政務調査研究費は、区民にとって使途が良くわからない経費である。多くは政務に係る経費に多く割かれ、調査研究費にまわる経費が少ないような感じがします。

おおくの区民は、区政への民意の反映に期待していますので、その期待を裏切らないよう強く要望します。